



平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

榛東村長 真 塩



### 道路整備の中期的な計画の作成にあたっての意見書

道路は、地域住民の生活や経済活動に不可欠であり、1日も早い整備が必要となっている。

特に、隣接市町での大型商業施設等の進出や道路整備が進むことによる道路交通体系の変化により、村民の生活や経済に深刻な影響を与えている。このような状況の中で、広域的なアクセス道路網の整備や既存の幹線道路の整備が強く求められております。

#### 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

①榛東村は、隣接する市町との広域的な幹線道路網の整備が遅れています。関越自動車道駒寄スマートインターチェンジや上毛大橋にアクセスする広域ネットワーク道路を早急に整備することが求められています。これを整備することにより、地域間の連携、産業、経済、文化の発展や活性化に大きな効果が期待できるものと考えています。

②県道や一級村道などの幹線道路について、歩道等の狭隘なところや、未整備のところが多く、老人や学童など歩行者の安全確保が図れないため、早急な整備が必要となっています。

#### 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ①道路整備に係るコストの削減に努める。
- ②整備路線への重点的な予算配分をおこなう。
- ③道路交通体系を見直し、真に必要な道路整備をおこなう。
- ④新しい技術及び製品の開発や道路構造の見直しをおこなう。

#### 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ①管理コストのかからない道路構造により整備をおこなう。
- ②地域住民のニーズにあった道路整備を行う。